

みずほCustomer Desk Report 2016/10/31 号(As of 2016/10/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	105.21
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.23	1.0896	114.67	0.9939	1.2168	0.7589
SYD-NY High	105.54	1.0992	115.32	0.9950	1.2213	0.7608
SYD-NY Low	104.47	1.0894	114.60	0.9859	1.2114	0.7558
NY 5:00 PM	104.70	1.0991	115.06	0.9877	1.2187	0.7598
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.91/10.315		△25RR	1.290	Yen Call Over	
NY DOW	18,161.19	▲ 8.49	債券市場	日本2年債	-0.2360	2.3bp
NASDAQ	5,190.10	▲ 25.87		日本10年債	-0.0420	1.0bp
S&P	2,126.41	▲ 6.63		米国2年債	0.8526	▲ 3.4bp
日経平均	17,446.41	109.99		米国5年債	1.3245	▲ 2.3bp
TOPIX	1,392.41	10.40		米国10年債	1.8468	▲ 0.7bp
シカゴ日経先物	17,425	▲ 50.00	為替市況	独10年債	0.1670	▲ 0.3bp
ロンドンFT	6,996.26	9.69		英10年債	1.2600	0.7bp
DAX	10,696.19	▲ 20.89		豪10年債	2.3760	4.5bp
ハンセン指数	22,954.81	▲ 177.54		USD/CNH	6.7848	▲ 0.0104
上海総合	3,104.27	▲ 8.08		ドルインデックス	98.35	▲ 0.54
USDJPY 3M Vol	10.50	▲ 0.10%	商品市況	CRB指数	189.207	▲ 0.84
USDJPY 6M Vol	10.81	0.06%		NY金	1,276.800	7.30
EURJPY 3M Vol	10.56	▲ 0.15%		WTI	48.700	▲ 1.02
EURJPY 6M Vol	11.21	0.09%		Dubai Spot	46.68	0.13

東京	東京時間オープン前に発表された本邦9月CPI(コア)は前年比+0.0%と、市場予想(+0.1%)をやや下回ったものの、マーケットの反応は限定的。かかる中、東京時間のドル円は105.23レベルでオープン。前日海外時間に日経平均先物が上昇した流れを引き継ぎ、日経平均株価も100円程度上昇して寄り付くも、ドル円相場は105円台で相応に売り意欲があったと見られ、700主導で一時105.07まで下押しする展開。同タイミングで黒田日銀総裁より「国債買い入れ額が大きく減少することは考えていない」などの発言が伝わったが、影響は限定的であった。その後、105円台前半で揉み合い推移が続いたものの、引けにかけて米金利がやや上昇する動きを見せると、東京時間高値105.42まで上昇。結局105.32レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場は105円台前半で様子見となった。105.32レベルでオープン。米7-9月期GDPの発表を控え105円台前半で小動きとなり105.36レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドは売られた。1.2163レベルでオープン。英国・北アイルランド高裁が英国が離脱を通知する前に北アイルランド議会の承認が必要と訴えた訴訟で、「承認は必要ない」との判決を下したことや、米GDPにて好景気が確認できるとの予想に1.2114まで売られた。1.2141レベルにてニューヨークへ渡った。(00531 444 179 トールフリー 西海)
ニューヨーク	ドル円は105.36レベルでNYオープン。朝方発表された米7-9月期GDP(年率/前期比)、コアPCE(前期比)が予想を上回るドル買いが強まり、105.51まで上昇。しかし105円台半ばでは売り意欲も高く、個人消費が予想を下回ったことや、GDPも大豆価格の急騰による一過性の輸出の伸びとの見方も一部あり、ドル円は105.20付近まで反落。その後、発表された米10月シカゴ大学消費者マインドが予想を下回ると105.06まで続落するが、堅調なダウ平均を横目に反発し、高値105.54まで上昇した。午後は105.40付近での推移が続いていたが、FBIが私用メール問題でクリントン民主党候補の捜査再開の報道を受けて、大統領選挙を11月8日に控えクリントン氏優勢と思われていた見方に不透明感が強まると、リスク回避のドル売りからドル円は一時104.46まで急落。この水準では下げ渋り104.91まで値を戻すと、104.70レベルでクロスした。一方、ユーロは1.0922レベルでNYオープン。10月に入ってからのハードブレグジット懸念のユーロ売りは一旦落ち着き、堅調な推移から1.0940付近まで上昇。その後、クリントン氏のメール騒動にドル売りが強まると、一時1.0992まで上昇し、1.0991レベルでクロスした。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月28日	8:30	失業率/有効求人倍率	9月 3.0%/1.38	3.1%/1.38
	8:30	全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	9月 -0.5%/-0.5%/0.0%	-0.5%/-0.5%/0.1%
	8:30	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	10月 0.1%/-0.4%/0.1%	-0.4%/-0.5%/-0.1%
	18:00	消費者信頼感・確報値	10月 -8.0	-8.0
	21:00	CPI(前月比/前年比)・速報値	10月 0.2%/0.8%	0.2%/0.8%
	21:00	EU基準CPI(前月比/前年比)・速報値	10月 0.2%/0.7%	0.1%/0.7%
	21:30	GDP(年率/前期比)・一次速報値	3Q 2.9%	2.6%
	21:30	個人消費	3Q 2.1%	2.6%
	23:00	ミシガン大学消費者マインド・確報値	10月 87.2	88.2

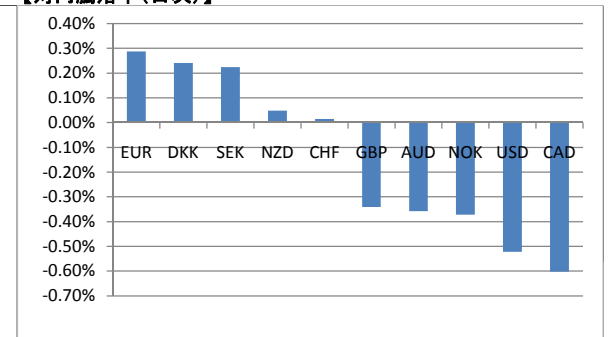
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月31日	8:50	鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	9月 0.9%/1.9%	1.3%/4.5%
	8:50	小売売上高(前月比)	9月 0.2%	-1.2%
	19:00	CPI予想(前年比)	10月 0.5%	0.4%
	19:00	GDP(前期比/前年比)・速報値	3Q 0.3%/1.6%	0.3%/1.6%
	21:30	個人所得/個人支出	9月 0.4%/0.4%	0.2%/0.0%
	21:30	PCEコア(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.7%	0.2%/1.7%
	22:45	シカゴ購買部協会景気指数	10月 54.0	54.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.00	1.0900-1.1030	114.30-115.50

【マーケット・インプレッション】

週末の海外市場でのドル円相場は下落する展開となった。米第3四半期GDP(速報値)が市場予想を上回ったこと等から一時105.54円まで上昇した。しかしFBIがクリントン氏の私用メール問題の捜査を再開すると報じられると、米大統領選挙に対する不透明感の高まりが嫌気され、104.47円まで急落する値動きとなった。本日は上値の重い値動きを予想する。12月の米利上げ期待の高まりからドル買いの地合いは不変だが、8日の米大統領選を控えたポジション調整や輸出企業の月末締め目のドル売りも意識され、上値は重くなりそうだ。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。